

お客さまの声を活かしたものづくり活動から新商品を開発
玄関収納「EYE'S PLUS STORAGE SHOES」
(アイズプラス ストレージ シューズ)
ふとん収納「EYE'S PLUS STORAGE FUTON」
(アイズプラス ストレージ フトン)

三菱地所レジデンス株式会社は、2013年に始動したお客さまの声を活かした住まいに関するものづくり活動「EYE'S PLUS (アイズプラス)」において、専有部内の収納に着目し、新たに玄関収納「EYE'S PLUS STORAGE SHOES (アイズプラス ストレージ シューズ)」と、ふとんが収納できるクローゼット「EYE'S PLUS STORAGE FUTON (アイズプラス ストレージ フトン)」を開発しました。

当社では、会員組織「三菱地所のレジデンスクラブ」「ザ・パークハウス クラブ」や、お客さまとの相互交流を目的としたWEBサイト「スマイラボ」などを通じてお伺いしたお客さまの声を活かした、ものづくりの取り組みを「EYE'S PLUS」と名付け、新たな価値を付加した新商品を開発しています。

今回は収納をテーマに、アンケート6,684件、グループインタビュー3回、「スマイラボ」を通じたコミュニケーション (WEBアンケート、コラムへのコメント等) などの双方向のコミュニケーションを実施し、不満が多かった①玄関収納と②ふとんの収納について、アンケート結果やお客さまから直接お伺いした声や社員の意見を集約し、商品づくりに反映しました。

●商品特徴

①EYE'S PLUS STORAGE SHOES

玄関収納に置きたい「物」と「量」に関してアンケートを実施。靴の収納量の充実、スペースの可変性の向上、飾りや小物を置けるオープンスペースの確保を図った玄関収納。

②EYE'S PLUS STORAGE FUTON

全居室洋室プランでは通常押入れがないものの、来客用ふとんをお持ちの方が多いたことがアンケートの結果から判明。そこで3つ折りふとんが収納できるとともに、納戸機能や可動棚・可動パイプハンガーといったクローゼット機能も備えた、可変スペースのふとん収納。

当社では、「EYE'S PLUS STORAGE」シリーズを、2014年4月以降、順次「ザ・パークハウス」に導入して参ります。導入第1号物件となる「ザ・パークハウス 上石神井レジデンス」(2014年5月上旬モデルルームオープン予定) では、「EYE'S PLUS STORAGE FUTON」のほか、「EYE'S PLUS」で生まれた「EYE'S PLUS KITCHEN」「EYE'S PLUS BATHROOM」「EYE'S PLUS LAVATORY」「EYE'S PLUS COLOR 2013」も採用しました。

今後ともお客さまの声に耳を傾け、より一層お客さまにご満足いただける住まいの提供を目指します。



▲左、中央：EYE'S PLUS STORAGE SHOES、右：EYE'S PLUS STORAGE FUTON

■ EYE'S PLUS STORAGE SHOES

当社主催イベント来場者へのアンケートや「スマイラボ」を通して得られた多くのご意見を分析し、仮説をたて4つの玄関収納を試作しました。試作品は昨年6月に開設した、試作品や完成品の展示とともに商品開発の分析・検証を行うものづくり研究所「EYE'S PLUS LAB (アイズプラス ラボ)」に展示し、細かく検証を行う為、お客さま(「三菱地所のレジデンスクラブ」会員6名、「ザ・パークハウス クラブ」会員4名)や社員へグループインタビューを実施。現行品と試作品を比較し実際に触れていただきながら、実際の使い勝手に関するご意見や、ご自身の生活に取り込んでみたい機能やポイントをお答えいただきました。そのほか、現在のお住まいでの収納に関して良いと思うところ、困っているところ、今後の玄関収納に求めることなど、様々な角度からご意見をお伺いしました。

こうした試作品の検証や検討の末、3つの改善ポイント(収納量増加、可動棚による可変性向上、オープンスペースの設置)を取り入れた「EYE'S PLUS STORAGE SHOES」が完成いたしました。

開発までの取り組み

① アンケートの実施 (回答数: 6, 684件)

アンケートの結果、

- 玄関収納に対し不満が多い
- 小物置き場や靴の収納数へのニーズが高いことが分かりました。

② 試作品の製作・検証

①のアンケートをもとに試作品を4点製作。試作品を使いグループインタビューやWEBアンケートでお客さまのご意見を収集。社内でのヒアリングも実施。

③ 改善ポイントの決定・商品開発

①②を通じ、玄関収納の改善ポイントを、以下3点に決定し、商品を開発。

- 靴の収納量の増加
- 可動棚を多く採用することによる可変性の確保
- 飾りや小物を置けるオープンスペースの確保

■ 不満がある収納を3つ選んでください



「寝室」と「玄関」の収納に不満があるようです



POINT.1 靴の収納量を増やす

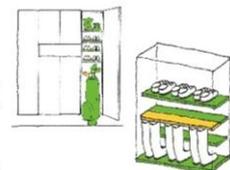
現行の玄関収納は幅120cmでしたが、幅160cmに拡大しました。これにより、靴だけを収納した場合、現行比20足増の53足が収納可能となりました。

※靴の寸法は、紳士靴が幅25cm、婦人靴が幅19cm、収納数は男女比4:6で検証しています。



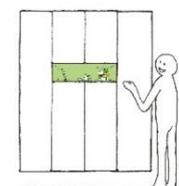
POINT.2 可変性を持たせる

自由に組み換えられる可動棚
可動棚を多く採用しています。ゴルフバッグなどの長物を収納できるよう、キャビネット最下段が取り外し可能な可動棚となっています。手前と奥で分割できる可動棚を採用しました。



POINT.3 オープンスペースを設ける

中央2つ分のキャビネットには扉のないオープンスペースを設けています。お客さまを迎える場として好きな物を飾ったり、鍵などよく使う物を置いたりするスペースとして自由に活用できます。



■ EYE'S PLUS STORAGE FUTON

昨今のマンションでは和室がない全居室洋室プランも増えています。そうしたプランでは通常「押し入れ」を計画しませんが、お客さまアンケートの結果では来客用ふとんを持っているという方は72.7%（アンケート回答数2,122件）で、他にも季節用掛けふとんなどをお持ちの方も多かったことがわかりました。

そこで、洋室プランでもふとんの収納場所を確保するため、3つ折りふとんが収納できるスペースを確保しつつ、納戸機能やクローゼット機能も併せ持ち、可動棚・可動ハンガーパイプによって暮らしのあり方に応じてスペースを配分できる「EYE'S PLUS STORAGE FUTON」を開発しました。

開発までの取り組み

① アンケートの実施（回答数：2,122件）

アンケートの結果、

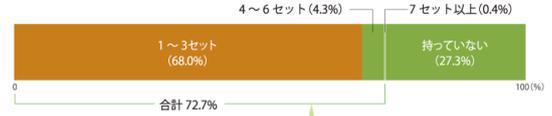
- 72.7%の方が来客用ふとんを持っている
- ふとんだけでなく、扇風機や暖房器具についても収納に困っている人が多く、普段の洋服の収納と併せて収納できる可変性のある収納へのニーズが高いことがわかりました。

② アンケート結果を踏まえ商品開発

- 高さ32mm毎に位置を変更できる可動棚の設置
- 可動ハンガーパイプにより、収納物に応じて細やかなスペース調整・高さ調整が可能

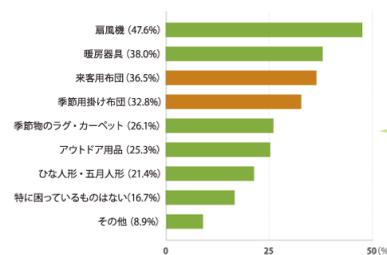
お客さまアンケート

■ 来客用のふとんはどのくらい持っていますか？



72.7%の人が来客用ふとんを持っています

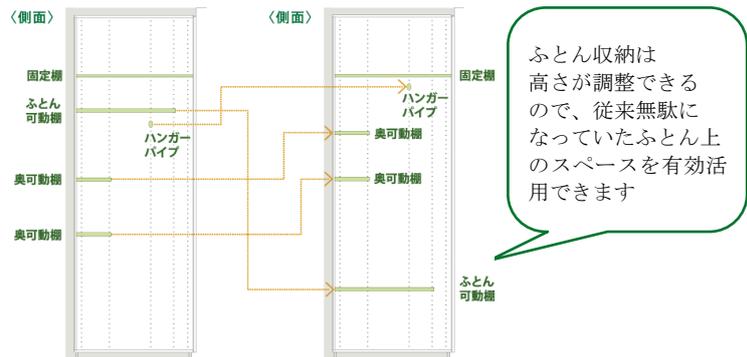
■ 収納に困っている物はありますか？（複数回答）



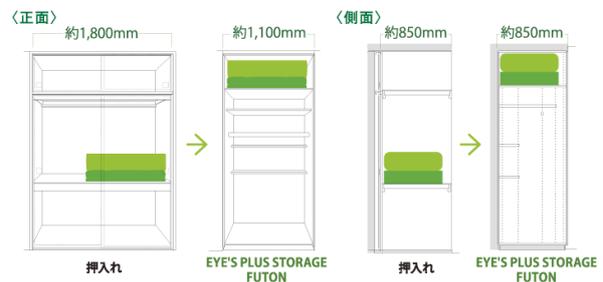
ふとんをはじめ、季節物や大きな物などの収納に困っているようです



棚の可変性について



押し入れとの比較



<参考>

「EYE'S PLUS STORAGE」ウェブサイト

URL : http://www.mecsumai.com/brand/list/brand_category_id/67

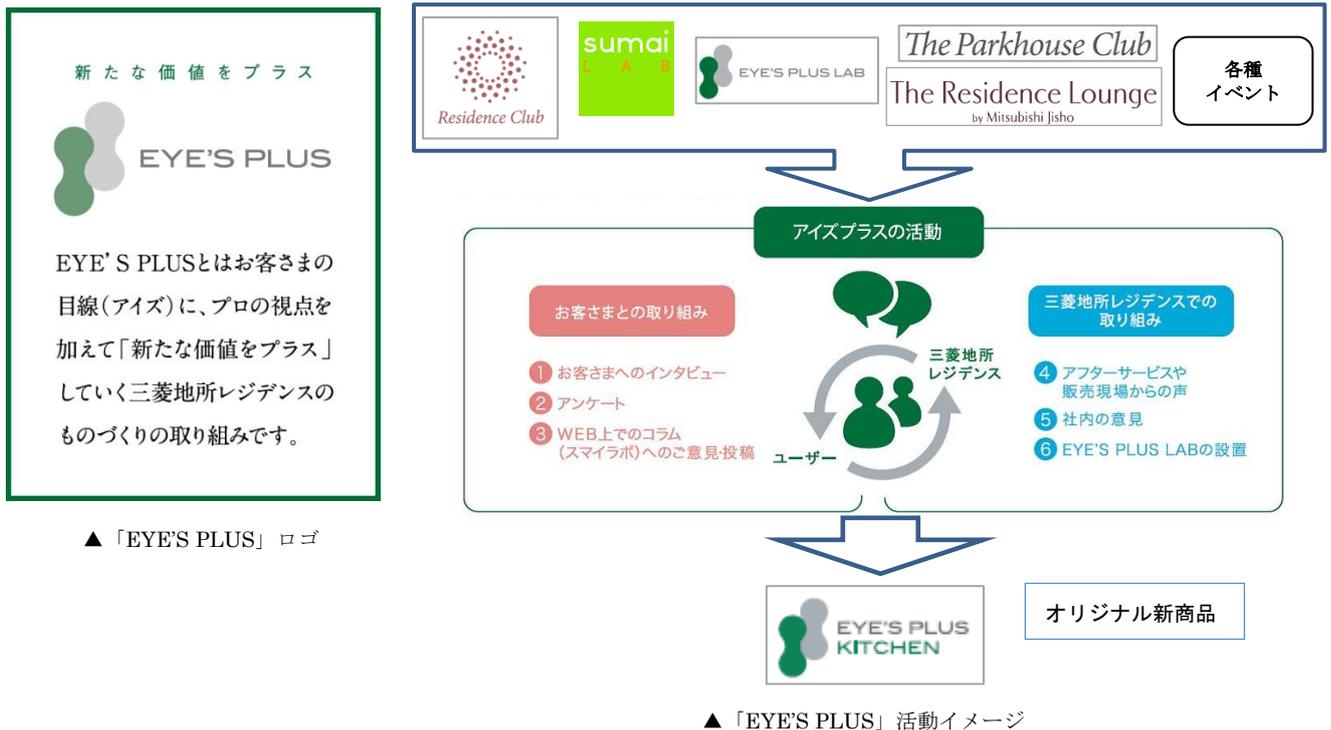
<参考>

■EYE'S PLUS (アイズプラス)

お客さまの声をより一層集約した商品開発を行うため、お客さまの声に三菱地所レジデンスの実績やノウハウを活かしたプロの視点を加え、「新たな価値をプラス」していくものづくりの取り組みとして2013年6月に始動した取り組み。

各種アンケートやご契約者様・ご入居者様を対象とした会員組織「三菱地所のレジデンスクラブ」やWEBサイト「スマイラボ」などを通じて伺ったお客さまのご意見から方向性を見出し、その方向性から仮説をたてて試作品をつくり、仮説を検証することで商品を開発。

本取り組みから生まれた商品は、「EYE'S PLUS」の名を冠した商品として順次「ザ・パークハウス」に導入しており、現在6種類の商品の実績があります。(2014年4月現在、「EYE'S PLUS STORAGE SHOES」、「EYE'S PLUS STORAGE FUTON」含む)



「EYE'S PLUS (アイズプラス)」を通じて開発した商品

- 「EYE'S PLUS KITCHEN」(キッチン)
- 「EYE'S PLUS COLOR 2013」(カラースキム※毎年更新)
- 「EYE'S PLUS BATHROOM」(ユニットバス)
- 「EYE'S PLUS LAVATORY」(洗面化粧台)
- 「EYE'S PLUS STORAGE SHOES」(玄関収納)
- 「EYE'S PLUS STORAGE FUTON」(ふとん収納)

■ EYE'S PLUS KITCHEN(アイズプラス キッチン)

「EYE'S PLUS」商品開発の第1弾商品（2013年6月発表）。お客さまの声にもとづき、①手元を隠すとともにキッチンまわりのものを置くスペースを確保した、シンク前のキッチンカウンターの立ち上がり、②広く取った作業スペース、③収納を重視（収納場所の明確化、高容量化等）が特徴のキッチンを開発しました。

② 広くなった作業スペース

シンクよりも作業スペースが広いほうが良いという意見から、作業スペースを大きくしました。調理や配膳がしやすくなりました。





① シンク前にキッチンカウンターの立ち上がりをつくる

シンクの前にカウンターの立ち上がりをつくることによって、シンク回りに置かれている細々とした雑多なものを置く場所を確保でき、ダイニング側からもすっきりと見えます。また、水はねなどの問題も解消できます。



③ 収納を重視し、収納場所を明確に

コンロ脇のスライドラック

調理中でもすぐに使用できるように、醤油や酒など背の高いボトル類、スパイスが収納できます。



たっぷり入る引き出し

作業スペースを広くとったことで、収納の容量も変わりました。



吊戸棚の収納を使いやすく

吊戸棚の下部にキッチンペーパーとラップが入るマルチハンガーを設置しました。右側部分は棚板を外すと、まな板やレシピ本などを立ててしまうことができます。



実物のキッチンを展示したイベントでは「立ち上がりカウンターの高さは肘がつけて丁度よい。」や「吊戸棚のマルチハンガーはレシピ・まな板を収納できるのがよい。」など、お客さまにご好評をいただきました。

「EYE'S PLUS KITCHEN」導入状況

(モデルルーム公開中)

- ザ・パークハウス 新子安ガーデン
- ザ・パークハウス 川崎
- ザ・パークハウス 東陽町
- ザ・パークハウス 南大井
- ザ・パークハウス 千代田淡路町 ほか

(モデルルーム準備中)

- ザ・パークハウス 上石神井レジデンス
- ザ・パークハウス 新越谷
- ザ・パークハウス 両国レジデンス ほか

「EYE'S PLUS KITCHEN」を展示したイベントでのお客さまの声

- 吊戸棚のマルチハンガーはレシピ・まな板を収納できるのがよい
- 調味料ラックはボトルが入るサイズがとてもよい
- 立上りカウンターの高さは肘がつけて丁度よい
- マグネットを付けられるホーローパネルはとてもよい ほか

■EYE'S PLUS LAB (アイズプラス ラボ)

「EYE'S PLUS」の取り組みの商品開発の分析・検証を行うための場として2013年6月に開設された「ものづくり研究所」。キッチン、カラスキム、洗面台、トイレ、浴室、扉、収納などの試作品や完成品を実際に設置し、検証・改良に活用する場所であるとともに、お客さまや社員へのインタビューなど対面のコミュニケーションを通じて意見の収集を行う場としての機能も有しています。

■スマイラボ (2012年度グッドデザイン賞受賞)

2011年11月、三菱地所グループの住宅事業における環境への先進的な取り組みや新規事業提案等を行っている株式会社メック e c o ライフが開設・運用しているWEBサイト。

「ニュース」・「コラム」・「アンケート」の3つのコーナーで構成され、「ニュース」・「コラム」でお客さまに住まいや暮らしに関する新しい考え方や情報を発信するとともに、「アンケート」でお客さまからご意見を伺い、双方向でのコミュニケーションを行っています。

「スマイラボ」ウェブサイト

URL : <http://www.sumai-lab.net/>

